

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	志木市				
提案事業名	市民力による志木駅東口周辺のにぎわい創出事業				
事業期間	平成31年度 ～ 平成31年度				
成果指標	(成果を検証する指標) 社会実験の参加者（1回あたり100人、回数は5回）				
	(成果検証の具体的な方法) 「社会実験の参加者数」により成果指標の達成度を検証				
	(成果の目標値に対する実績)				達成度
	従前値 (H31年1月時点)	0	目標値 (R2年3月時点)	500	実績値 (令和元年8月時点)
	(施設建設等の場合の実績)				A B C
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	500 97	稼働率 (%)	(目標) (実績)
	住民への公表状況 及び特記事項		市のホームページに記載		

【事業効果の整理・原因分析】

平成31年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ペDESTロリアンデッキを活用したにぎわい創出事業	○ △ ×	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた社会実験事業を実施することはかなわなかったが、市民力による志木駅東口周辺のにぎわい創出の一環としてペDESTロリアンデッキを活用して地域の子ども会によるラジオ体操を実施した。
② ペDESTロリアンデッキの電気設備整備事業	◎ △ ×	志木駅東口ペDESTロリアンデッキ上に分電盤の設置が完了し、ペDESTロリアンデッキを活用したイベント等が実施しやすい環境を整備することができた。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染症により、予定していた社会実験事業が実施できなかったため、ペDESTロリアンデッキを活用したにぎわいの在り方の検証や、今後の参考となるアクティビティ調査が実施できなかった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	コロナ禍でも安全に実施できるガイドラインを策定するなど、安心安全に参加できるイベント実施に向け、引き続き環境整備を進めていく。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

- 「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合
実績値 $\geq$ (目標値－従前値) $\times$ 80%+従前値
- 「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合
(目標値－従前値) $\times$ 60%+従前値 $\leq$ 実績値 $<$ (目標値－従前値) $\times$ 80%+従前値
- 「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合
実績値 $<$ (目標値－従前値) $\times$ 60%+従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(○・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

- 「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる
- 「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある
- 「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない